



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

群馬県PTA大会へ連携協力！！ ～子どもたちと一緒に学び・楽しむ前橋大会～

前橋募集案内所長 土屋 章



災害ブースを案内



災害派遣パネル展示

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 防衛事務官 上野和人）は令和7年11月29日（土）、前橋市PTA連合会からの依頼を受け、前橋市民文化会館において開催された第70回群馬県PTA大会に防災教育の一環として連携協力を行いました。

本大会は、「子どもたちと一緒に学び・楽しむ前橋大会」をコンセプトに、子どもたちの夢や目標の実現、心身の健全育成、教育・社会環境の充実、地域行事への参加など、PTAとして何が出来るかを改めて考える機会として企画されました。

子どもたちの「心豊かで、たくましく生きる力」を育み、社会を生き抜く力を支えるため、関係機関が連携し、力強く前進していく思いが込められています。

大会では、防災・災害対策をテーマに、自衛隊、前橋市消防局、前橋市防災危機管理課が連携して講演が行われました。

自衛隊は、災害派遣で培った知識と経験を基に、災害発生時の行動や備えの重要性について説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。また自衛隊コーナーでは、第12後方支援隊による豚汁250食の野外炊事をはじめ、野外入浴セットや災害派遣車両の展示、災害活動パネルの公開などが行われ、参加者の関心を集めました。

特に、参加者自身が自衛隊携行食を温めて試食する体験は、災害時の食事を身近に感じる貴重な機会となり、親子で真剣に防災について話し合う姿が多く見られました。

今回の前橋大会は地域と自衛隊が協力し、子どもたちの未来と安全を守る意義深い機会となりました。今後も関係機関と連携し、地域防災の向上と次世代への防災意識の醸成に努めるため、自衛隊群馬地方協力本部は様々な取り組みを進めていきます。

群馬県PTA前橋大会からの学び 中学1年生 塩原 菜々美



第12後方支援隊による豚汁調理



大好評の温かい豚汁



非常用糧食の加熱体験



野外入浴セット見学

自衛隊の炊き出しや非常食の試食を体験して、災害時の食事がどれだけありがたいものなのかを実感しました。防災グッズや最低3日分の非常食を準備しておかないといけないことを知り、普段からの備えの大切さを強く感じました。

講演では、人を助ける責任感をもつて働く自衛隊の方の姿にとっても感動しました。今回学んだことを忘れず、家でも防災グッズを確かめたり、できる準備をしっかりと、災害に備えていきたいと思っています。

自衛隊の皆様に感謝

前橋市PTA連合会



多くの方が自衛隊ブースを見学



前橋所長の防災講話

2025年11月29日の群馬県PTA大会では、「子どもたちを守る」をテーマに自衛隊前橋募集案内所長に多大なお力添えと、自衛官の皆さまには災害派遣車両や炊事車両展示、炊き出し支援、制服試着会などをご用意いただき貴重な体験を行うことができました。

屋外の寒さの中でいただいた豚汁は格別で、被災地で支援を受ける方々にとつて、どれだけ心強い一杯となるかを実感しました。配布をお手伝いした際に、参加者の皆さんが笑顔で「おいしかった」と声をかけてくださったことが心に残っています。その一つひとつの笑顔が忘れられません。

屋内では、救助活動のパネル展示や講演会が行われ、近年の災害の脅威と備えの重要性を再認識するとともに、防災や危機管理への理解が深まり、日頃から備える大切さを実感しました。

自助・共助・公助という理念の中で、PTAとして地域の支えとなる役割があることにも気づかされ、貢献できる可能性を強く感じた一日となりました。今回の貴重な機会に改めて心より感謝申し上げます。